

統計ととと Vol.100

平成23年3月

鳥取県企画部統計課

TEL 0857-26-7103

FAX 0857-23-5033

統計課ホームページアドレス
<http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei>



◀発足式での高橋企画部長による看板掲揚



▲国勢調査PRのポケットティッシュ配布



▶横断幕によるPR

平成22年 国勢調査の概数値がまとまりました!!

平成22年10月1日を基準日として行われた国勢調査の中間とりまとめとして、12月9日時点での人口及び世帯数の概数値が公表されました。

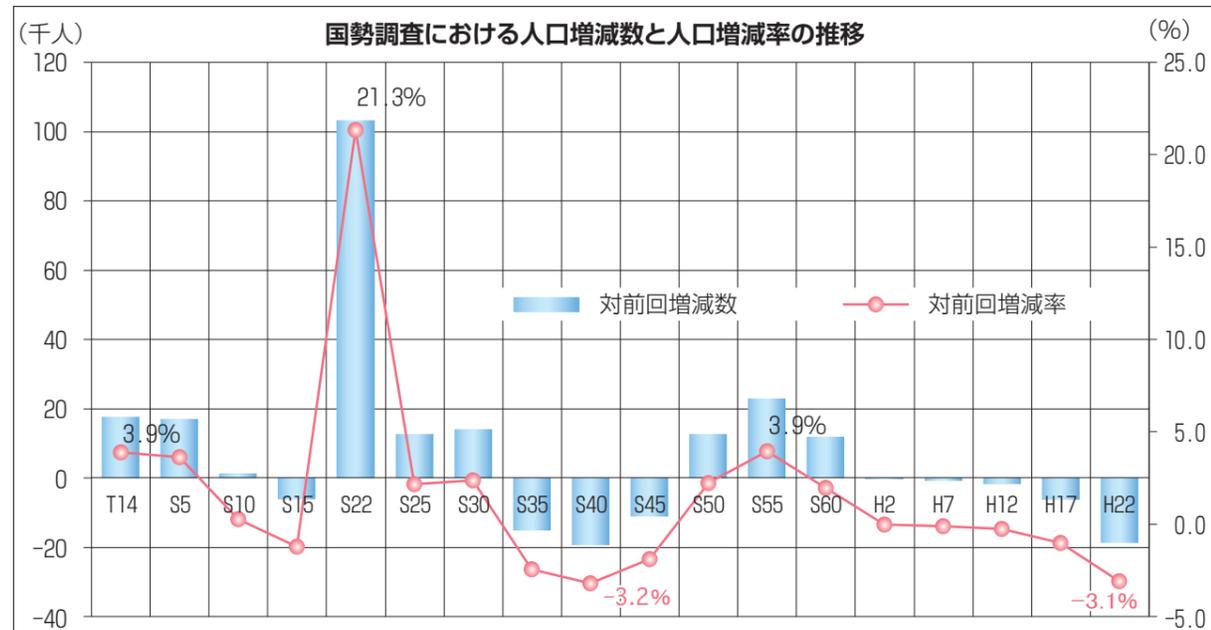
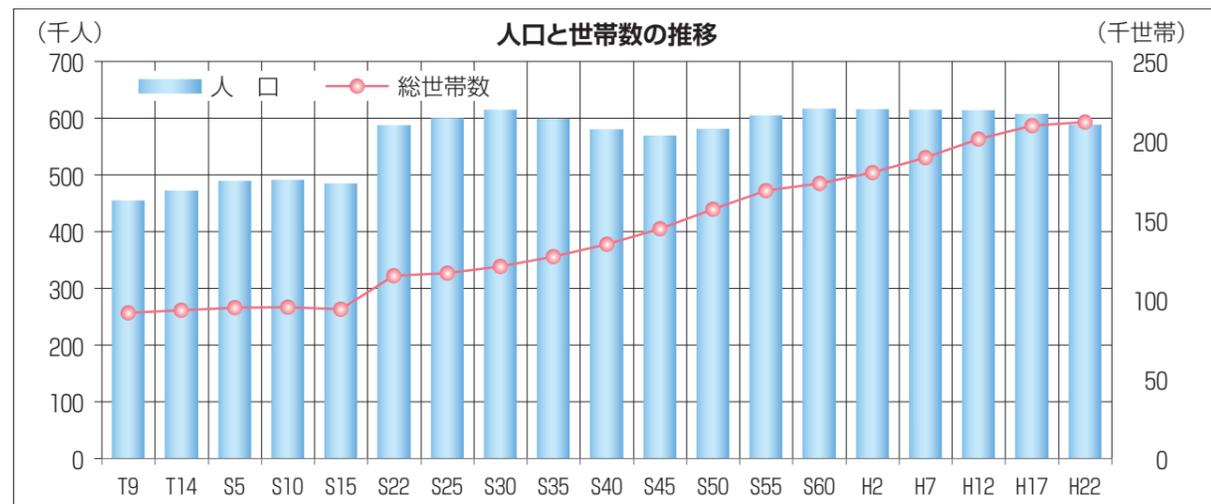
この概数値については、県の集計によるもので、総務省統計局が平成23年2月に公表する予定の全国、都道府県、市区町村別の速報結果とは異なります。

鳥取県の人口と世帯数の状況—対前回比3.1%は、過去2番目の人口減少率—

鳥取県の人口は、588,345人で前回(平成17年国勢調査)と比べ、18,667人(3.1%)減少しています。これは、昭和35年から40年にかけての減少率3.2%に次ぐ過去2番目の人口減少となりました。

一方、総世帯数は、211,833世帯で、前回に比べ2,292世帯(1.1%)増加しています。

	県概数値 (H22)	前回確定値 (H17)	前回との増減数	前回との増減割合
人口	588,345人	607,012人	△18,667人	△3.1%
総世帯数	211,833世帯	209,541世帯	2,292世帯	1.1%



人口予想クイズにご応募ありがとうございました

各イベント会場や学校等へ応募を働きかけ、鳥取県人口予想クイズを実施したところ、2,902通(うち有効2,762通)の応募がありました。みごとぴったり賞(1名)に当選したのは、鳥取市在住の10歳未満のお子様で、前ページの人口(概数値)との差はわずか1人でした。各賞の賞品は、公募により募集した県内企業の商品で、当選者の方に複数の商品の中から好きなものを1つ選んでいただきました。入賞者数は以下のとおりです。



おめでとうございます

ぴったり賞 (1名) 大山まきばの里お食事券、二段熱カレー計180箱、GOPAN(ライスブレッドクッカー)、二十世紀梨ドレッシング他全22品セット、ガイナーレオオリジナルグッズ福袋 から1点

おいしいで賞 (10名) ……鳥取市(5名)、境港市(2名)、米子市、岩美町、大山町(各1名) 氷温熟成うまみ干しうまみ漬詰め合わせ、大山ハム食の匠工房3種詰め合わせ、カフェ・カレーとドリップバッグほか全3品セット、砂丘らっきょう甘酢漬ほか全8品セット、とっとり美味広場オリジナルセット、などから1点

おいしいで賞 (50名) ……鳥取市(22名)、米子市(14名)、倉吉市(4名)、日野町(3名)、岩美町、大山町(各2名)、境港市、北栄町、琴浦町(各1名) 良熟梅の酒野花砂丘長芋焼酎セット、鷹勇純米大吟醸、第2回みんなで選ぶ境港の水産加工大賞セット、さくらたまごdeマヨネーズほか全5品セット、などから1点

猛暑の中 イベント会場でPR

鳥取県統計調査委員会にご協力いただき、「食のみやこ鳥取県フェスタ」の会場やショッピングセンター、鳥取・倉吉・米子駅前でのティッシュ配布など、猛暑の中、汗だくになって国勢調査のPRを行いました。ご協力くださった皆様ありがとうございました。



国勢調査 今後の公表予定は?

全国、都道府県、市区町村別の人口及び世帯数の確定値は、総務省統計局において平成23年10月までに集計の完了した都道府県から順次公表される予定です。

抽出速報集計 (平成23年6月公表予定)

男女・年齢別の人口、自営や勤めの仕事をしている人の数など労働力の状態、産業・職業ごとの就業者の数や、一人世帯、子どもがいる世帯の数など

人口等基本集計 (平成23年10月公表予定)

市区町村ごとの人口、世帯構成や住まい方、外国人の人口、65歳以上の人口など

産業等基本集計 (平成24年4月公表予定)

市区町村ごとの産業別の就業者数や、男女別の自営や勤めの仕事をしている人の数など

職業等基本集計 (平成24年11月公表予定)

市区町村ごとの職業別の就業者数や、就業者の産業と職業の関係など

研修会へ参加して 資質の向上を図る

「地域ブロック別登録調査員研修」開催される

日時：平成22年7月14日（水）～15日（木）

場所：兵庫県民会館

近畿・中国ブロックの登録調査員研修が開催され、本県から7名の方が参加されました。講義では、総務省政策統括官付統計企画管理官室 齋藤賢太氏が「最近の統計をめぐる動き」について、佐藤弘喜氏が「個人情報と統計法」についてお話されました。また、面接技法では3会場に分かれ、話し方研究所の講師の方がそれぞれ具体例を挙げながら講義をされました。

さらに、8グループに分かれての班別討議では、統計調査員としての日ごろの悩みや、工夫していること等について意見が出されました。

参加された皆様の感想を紹介します。



〔前列左から〕井関絹江調査員 牧田純江調査員
〔後列左から〕林當高調査員 植田登美子調査員
小泉雅子調査員 河本容子調査員
柿本富美子調査員

講義の内容はどうでしたか？

林調査員……話し方の上手下手は個人の資質もあるが、TPOに応じた対応が出来るように研鑽を重ねることが必要だと感じました。

小泉調査員……私達統計調査員は縁の下の力持ちなんだということがよくわかりました。

井関調査員……同じ立場で話す、お互いのやりとりがキャッチボールできる事など、調査をお願いするだけでなく私がこれから生きていくうえでとても参考になりました。

柿本調査員……どの調査もゆとりを持って笑顔で誠意ある態度をお願いすることがまず第一ですね。

班別討議で参考になったことはありますか？

牧田調査員……県、市町村での取り組み方は多少違いますが、調査員の悩み、経験は同じですね。担当者と調査員の連携を密にし、間違いのない調査になるよう努力が必要だと感じました。

植田調査員……公務員の方に拒否される人が多いというのが共通でした。結局、人が好きだから調査が続けられるという結論になりました。

河本調査員……もう一度初心からの始まりだと思いました。

研修会全体の感想はいかがでしたか？

小泉調査員……皆様のいろいろな苦勞を聞かせていただき参考になりました。私達調査員が訪問回収してよりよい統計ができるよう頑張りたいです。

井関調査員……あなたに会えて良かったわと思われるような調査員に！身だしなみ、言葉遣い、笑顔で対応、聞き上手でありたいです。あきらめずに再三訪問して、少しでも正しい数字が出るよう努めたいと思います。

牧田調査員……とても良い内容、お互い交流もでき楽しかったです。たくさんの方が出席できれば、と思いました。

柿本調査員……和気あいあいと話しの尽きない討議ができ、困ったことなど共感できることが多かったです。

植田調査員……県内の調査員と親しくお話ができたこと、県の担当者の方もお話ができとても良かったです。

河本調査員……身近に感じ、地元での説明会のような感じでした。

林調査員……各県の調査員行政職員が集まり、意見交換の場があって良かったです。

「登録調査員中央研修」に参加しました

日時：平成22年12月2日（木）～3日（金）

場所：総務省第2庁舎大会議室

原則、10年以上の経験を持つ登録調査員を対象に、登録調査員の資質の向上と都道府県を越えた相互交流を図ることを目的に、総務省が毎年実施しています。

本年度は全国から登録調査員と行政職員123名、本県からは登録調査員2名、県職員1名が参加しました。

講義1では「私たちの暮らしと統計」について統計局主任研究官 佐藤朋彦氏が、家計調査や労働力調査等の資料から暮らしの中にある統計について説明されました。講義2では「統計行政の動き」について、政策統括官付統計企画管理官補佐 上田聖氏から明治時代の詛語論争、戦前戦中のずさんな統計からの再建、統計法の全面改正に至る統計改革など興味深いお話がありました。

また、班別討議では「調査困難の現状及びその対応策」をテーマに、1グループ10人程度で13班に分かれて自由討議がされました。今回は国勢調査の直後とあって、国勢調査時の困難事例が多く出されました。また、調査のPR不足を指摘し、もっとメディアを使って広報活動をするべきとのご意見もありました。

参加されたお二人の感想

林 加代子 調査員（鳥取市）

班別討議では調査困難客体への対処法など活発な議論がされ、どこも共通の課題や悩みを抱えていると思いました。大きな課題として調査員の高齢化、若い調査員の募集や、育成など調査員のスキルアップの問題点も挙げられました。学んだことが実践で役に立ち、客体に対する対応もスムーズにできるのではと思っています。皆様も機会があれば躊躇なく研修に参加されることをお勧めします。

坂口 礼子 調査員（鳥取市）

統計調査の歴史や、私たちのしている統計調査の結果が具体的にどのように活用されているのかについて講義を聴いたり、また班別討議に参加して全国の調査員の方々が調査困難にどう対応しているかなど話し合うことができ、統計調査がいかに重要かを改めて認識しました。時代とともに調査困難な事例は益々増えていくと思いますが、人の力を信じ、これからも頑張りたいと思います。

初めての開催！「都道府県別登録調査員研修」

日時：平成22年12月8日（水）、9日（木）

場所：米子市文化ホール、県庁第2庁舎会議室

調査員の経験が原則5年未満の方を参加対象として、総務省が今年度初めて実施しました。本県では、82名の方に参加していただきました。

当課 中林圭一課長が「統計調査について」を説明した後、民間調査会社の株式会社インテージリサーチ 宮下裕氏により「接遇・話し方について」の講義がありました。

また、「統計調査員を経験して」というテーマで、鳥取・米子各会場3名の調査員の方に長年統計調査員としてご活躍されてきた中での喜びや苦勞などの経験をお話いただきました。

この研修は来年度も開催される予定ですので、今回参加されなかった調査員の皆様！次回は是非参加をお待ちしています。

栄誉に輝く 瑞宝単光章を受章

瑞宝単光章 藤原利子 調査員 (境港市)

平成22年秋の叙勲で瑞宝単光章、大変な章をいただいて身に余る光栄と深く感激致しております。

思いおせば昭和50年、市報で国勢調査員の募集からスタートして各種統計調査の調査員になり、仕事の全ては、県や市の統計関係者皆様の良き指導と、事業所や市民のご協力があって今日まで続けてこれ、とても一人での力ではなく周りに助けられながらの受章で本当に深く感謝の気持ちで一杯です。

年を重ねながらももう少しお役に立つよう頑張りたいと思っております。



平成22年度統計功労者表彰式・統計セミナー

県、米子市、鳥取県統計協会の主催により、平成23年1月19日(水)、米子コンベンションセンター小ホールで、例年にない寒波と降雪の中、約90名の参加を得て盛大に開催しました。

統計功労者表彰式

表彰式では、統計に功績のあった方々や事業所に対し、各省大臣表彰、鳥取県知事表彰、鳥取県統計協会会長表彰が厳かに行われました。

各省大臣表彰は、総務省政策統括官付統計企画管理官千野雅人氏より、鳥取県知事表彰並びに鳥取県統計協会会長表彰は、当課中林課長より伝達されました。

受賞者を代表して、経済産業省大臣表彰受賞者先瀬達也調査員より「この表彰は、住民の皆様の協力と理解あってのもの。統計調査に従事するなかで、信頼関係を築くことや約束を守ることの大切さを学ばせてもらった。今後とも、住民の生活向上に欠かせない統計調査の推進のため、皆様との連携、御指導・御協力を賜りたい。」と謝辞が述べられました。



講演される千野統計企画管理官



表彰状の授与



先瀬調査員による謝辞

統計セミナー

表彰式に引き続き、統計セミナーを開催しました。「統計からわかる意外な真実!？」と題して、千野統計企画管理官から、人口に関して様々なデータやグラフから本県と他都道府県の比較や、人口構成についてお話を伺いました。

受賞の皆様おめでとうございます

総務大臣表彰

労働力調査

調査員 本田 ムツ子 (米子市)

平成21年全国消費実態調査

調査員 岸田 絹枝 (倉吉市)

平成21年経済センサス—基礎調査

指導員 都田 凱良 (倉吉市)

調査員 田中 麗子 (大山町)

各種統計調査

調査員 堀尾 展道 (鳥取市)

調査員 澤田 千里 (若桜町)

厚生労働大臣表彰

労働統計関係

事業所 大因州製紙協業組合 (鳥取市)

事業所 総合印刷出版株式会社 (鳥取市)

事業所 三洋製紙株式会社 (鳥取市)

事業所 株式会社サンセキ (北栄町)

調査員 林 當高 (米子市)

農林水産大臣表彰

2010年世界農林業センサス

指導員 福井 輝夫 (倉吉市)

指導員 坪倉 司 (日南町)

指導員 野田 克人 (江府町)

調査員 小林 綾子 (鳥取市)

調査員 清水 公子 (鳥取市)

調査員 棚田 旭 (米子市)

調査員 隅 美也子 (倉吉市)

調査員 山田 敏彦 (境港市)

調査員 椿 和恵 (北栄町)

調査員 濱田 陽一 (北栄町)

調査員 尾村 美貴子 (日吉津村)

調査員 大谷 正巳 (大山町)

調査員 松本 よし子 (日野町)

経済産業大臣表彰

構造統計

調査員 先瀬 達也 (米子市)

経済産業省感謝状

経済産業省所管統計調査

調査員 小清水 和子 (鳥取市)

調査員 西井 真理子 (米子市)

鳥取県知事表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 株式会社尾崎 (鳥取市)

永年従事調査員

調査員 山本 公子 (鳥取市)

調査員 由谷 節子 (鳥取市)

調査員 手島 功世 (境港市)

調査員 本家 一郎 (若桜町)

調査員 前田 典顕 (湯梨浜町)

鳥取県統計協会会長表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 キンキ製造株式会社 (鳥取市)

事業所 株式会社アサヒメッキ (鳥取市)

事業所 鳥取旭工業株式会社 (鳥取市)

統計調査員功績者

調査員 木村 順子 (米子市)

調査員 佐田 紀子 (米子市)

調査員 角田 八寿子 (米子市)

調査員 林原 照美 (米子市)

調査員 福本 牧子 (米子市)

調査員 福田 律子 (米子市)

調査員 小椋 憲 (倉吉市)

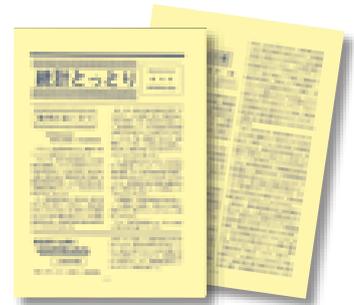
調査員 山方 良江 (智頭町)

(敬称略、順不同)

統計とっとり100号までのあゆみ

今号で100号を迎えた「統計とっとり」。その足跡を振り返ります。

- 昭和47年10月10日(創刊号)……県、市町村の統計関係者、統計調査員の意志交換を図ることに重点を置き、鳥取県統計協会がおおむね年3回発行。統計課職員の紹介、市町村統計担当職員や調査員などからの寄稿、統計グラフコンクールの作品紹介などを掲載。
- 昭和48年6月30日(第3号)……当時の企画部長 西尾邑次氏が「無駄」と題して寄稿。「無駄を省いて確率の高い統計を仕上げ、更にそれをどのように有効に利用活用するかが、生きた統計であり、無駄骨に終わらせないことになると確信(一部抜粋)」
- 平成13年3月(第87号)……白黒印刷からカラー印刷に変わり年1回～2回発行。
- 平成16年10月(第91号)～今号……統計課が発行。主に調査員活動や調査員研修、功労者表彰式など、統計調査員向けの情報を掲載。



よろしく
お願いします

平成23年度に実施される

統計調査(調査員調査)の一覧

(平成23年2月1日現在)

市町村	調査名・調査基準日 市町村委託分 平成24年経済センサス 活動調査	県直接調査分									
		家計調査	小売物価統計調査	労働力調査	個人企業経済調査	毎月勤労統計調査 (第一種)	毎月勤労統計調査 (特別調査)	生産動態統計調査	商業動態統計調査	鉱工業生産動態調査	社会生活基本調査
	2/1	毎月	毎月	毎月	毎四半期	毎月	7/31	毎月	毎月	毎月	10/20
鳥取市	○	○	○	○		○	○	○	○	○	対象市町村については未定
米子市	○			○	○	○	○	○	○	○	
倉吉市	○			○	○	○	○	○		○	
境港市	○			○		○	○			○	
岩美町	○		○	○		○					
若桜町	○					○	○				
智頭町	○	○		○		○					
八頭町	○			○		○	○				
三朝町	○			○		○					
湯梨浜町	○			○		○	○				
琴浦町	○			○		○	○				
北栄町	○					○					
日吉津村	○										
大山町	○			○							
南部町	○			○		○					
伯耆町	○			○			○				
日南町	○										
日野町	○			○			○				
江府町	○					○	○				

注：○印は対象市町村を示す。